



一般社団法人

# ロゴス腹話術研究会

2020年6月6日

会報

第13号

## 説教『いつも喜び、どんなことにも感謝しなさい』

春風つばめ

はじめに聖書の言葉です。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

新約聖書、テサロニケの信徒への手紙—5章16節から17節に記されている言葉です。「いつも喜んでいなさい」「どんなことにも感謝しなさい」と言われても、大抵の人は「無理だ」と思われるのではないのでしょうか。腹の立つことはいっぱいあるし、落ち込むことだってある。不平・不満の種はそこらへんにいっぱい転がっています。ですから、なぜ、今日のお話、この聖書の箇所を選んだのか、そのきっかけとなった出来事をお話しさせていただきたいと思います。



昨年12月2日、日曜日の夕方、仲の良い大阪のおばちゃんにバツタリお会いしました。

「なんや、あんた元気あらへんやないか」、おばちゃんが話しかけてきました。

「そうなんです。今日、教会で聖書のお話ししたんですけどね、全然受けへんかって、落ち込んでいるんですわ」

「なんや、あんた、いつも同じこと言ってるなあ。聞いている人に「うわあ〜、素晴らしかったわあ」と言うて欲しいんか」

「いや、そんなこと思ってへんけど、やっぱりなあ。今日、お話しするにあたって、本を読んで勉強したし、原稿は何回も書き直したんです。少しは、手応えというものがあってもええちゃうかなあ、と思ってるんですよ」

「あんた、アホやなあ。聞いている人はな、みんな煩惱で聞いているんや。マリヤ様や、天使のようなお方が聞いているんちゃうんか。みんな好き勝手聞いているんや。誰も、褒めてやろうなんて、思ってへんわ。」

「そりゃあ、そうかも知れへんけども・・・」

「牧師さんに、説教するのもなんやけどな。神さんは、おかみ（女将）さんとは違うんやで」

「そりゃあ、そうです。おかみ（女将）さんとは違います」

「神さんは、お天道様のようなお方ですやんか」

「どういう意味ですか？」

「お天道様は、この人は嫌いや〜雨降らしたらへん、この人は気に食わんから、暖かい熱を注いでやらへん、そんなことおっしゃらんと、誰に対しても、分け隔てなく、雨を降らしたり、暖かい陽射しを注いだりしてまっしゃろう」

「そうですね」

「あんたも、しっかり聞いていそうな人にも、半分居眠りしながら聞いている人に対しても、分け隔てなく、一生懸命、神様のお話をしてあげたらええんとちゃいますか？」

「おっしゃる通りです」

「問題は、そのためにどうしたらええか、と言うことやんか」

「どういうことですか」

「誰でも好き嫌いがありますやろう」

「ありますね」

「好きな人にも嫌いな人にも、どないしたら、分け隔てなく一生懸命お話ができるか、ということです」

私は、こんなふうと言われて、昔、桂枝雀さんという落語家さんがおっしゃっていたことを思い出しました。枝雀さんは、落語に行き詰ったことがあって、その暗いトンネルの中で、自分は楽しんで落語をしていないことに気づかれたそうです。自分が落語を楽しんでいないのに、聞いてくださるお客さんもそれだったら、きっと楽しくないだろう、と思われて、とにかく落語を楽しむことを心がけるようになっていかれたというお話を若い時に聞いたことを思い出しました。

ですから、どんなことがあっても、聖書のお話をさせていただけることに感謝して、そのことが喜べるようにならないといけないと思いました。

「分かってもえなかった」と落ち込むこともあります、そんな時は祈って、気持ちを整理して、「分かってもえなくても、それが分かってもえる第一歩」と気持ちを切り替えて頑張ろうと思っています。また、簡単に分かってもえるだろう、と考えていること自体、傲慢だと思います。ですから、「分かってもえるよう徹底して智慧を尽くそう」、そんなふうに努力できることに喜びを見出し、感謝しなければいけないと思っています。

最後に、2020年1月27日（月）に行われた、元NHKアナウンサー村上信夫氏の「ことば磨き塾」で教わったお話を一言つけ加えさせていただきます。

小林正観さんは、2011年10月12日に亡くなられた著述家ですが、朝起きた時100回「ありがとう」と言って、「ありがとう」探しをされたそうです。「ありがとう」を探そうと思えばいくらでも出来ます。「ありがとう」は単なる英語のThank youではなく、その由来は「有り難し」にあります。息が出来ることも、立って歩くことも、美味しく食事がいただけることも「あたり前」のことではなく、「有り難い」ことです。そんなふうに「ありがとう」を探そうと思えばいくらでも出来ます。そして、「つまんねえーなあー」と思いながら生きてると、「つまんねえー」人生になってしまいます。「有り難い」と感謝しながら生きてると「有り難い」人生になります。いつも感謝し、喜んで生きることを心がけて生きていくことは出来るし、そうやって生きることの方が幸せです。

腹話術の練習や奉仕にも、この考え方を活かしてゆきたいものです。

(2020年2月11日研修会での説教 日本礼拝教団島之内教会牧師 木戸定)

## 時々あるご質問

回答者 技術担当理事 春風とんぼ

質問：あんなに台本を忘れても合格するのですか？

回答：師匠の教えは「台本は完全に覚えること。覚えたら、全部忘れること。」全部すっかり忘れてたら演技は出来ません。しかし忘れて「飛んだ時間」をどう埋めることができたかが演技者の持ち味となります。過ぐる11月の研修会で行われた「技術認定会」では、このことが話題になりました。採点方法は、ご存知の通り5人の審査員が審査項目に従って採点し、5人の平均点が6点以上を合格とします。審査委員長は平均点と委員長点を加え2で割り最終結果を出し、理事長の判断を受け合否を決定します。

今回、確かに台本を忘れ演者は困惑しましたが、講評の通りその時間に「キチンとした9パタ」「位置の移動・足のくみかえ」「笑顔」で大きく部分評価を得ました。失点を加点に変換したことに、観衆は拍手してくれたので合格としました。

# 2020年 第8回口ゴス腹話術 研修会・技術認定会

日時 2020年2月11日

会場 グリーンパレス春日井(勤労福祉会館)

【プログラム】

開会の礼拝 春風つばめ

技術認定会

会食・交流会

発声・動作練習 春風テッテル

研修会

「台本を深める」春風とんぼ

技術認定証授与

## 講評

技術認定委員長 春風とんぼ



今回岸さんの演技をご覧になりどんなことをお感じになりましたか。とんぼが目指しておる演技のひとつに、「口を開かない打音」「無音の頭音」があります。前回も口が動かないのに声が出るという演技をした方がありました。今回も演技をした岸さんにそれを求めました。やってくれたのは、手を洗うところだったですね。手を洗う時、術者の両手が外に出ている。その時に頭音を継続されたということです。感動しました。

師範ですから狙うところはやっぱり「笑い」です。「ま」の取り方が少なかったので、笑いが起こるべきところで起こらなかった。そのように思いました。

本当に涙ぐましい努力をしてくださいました。初めからそんなに悪くないと思ったのですが、笑いがあれだけ減るほど当人は緊張するんですね。汗びっしょりでした。よく頑張りました。おめでとうございます。

## 師範



### 岸とし子「若返りの水」



春風とんぼ先生はじめ、皆さんに指導・助言・励ましをいただいたおかげと感謝しております。でも今回は、今まで受けてきた認定とは、全く違ったものでした。台本を何度も書き直しました。台詞・言葉を短く、同じ意味ならば繰り返しはなく5分で収まるようにと台本の見直しが続きました。演技をしていると、台本の部分修正が必要になりました。このため身近に台本を置き、絶えず見直していました。大切な笑ってもらうことの難しさを改めて感じました。「ま」の取り方により、話の雰囲気も変わってくるのに、早口で話してしまっていたことも反省です。台本の大切さと演技力をさらにみがいていかなければと感じた認定会でした。台本を極める。台本と演技・演出が繋がっていることを感じました。ありがとうございました。

師範技術認定に合格した 小澤多美子を **春風たみ子**

岸とし子を **春風笑美子** と命名します

2020年6月13日

理事長 野田めぐみ

技術担当理事 春風とんぼ

芸名がつくと一段大きくなる。名は体を表す。体は名を表す。

春風イチロー

## 2020年 第8回ロゴス腹話術 研修会・技術認定会

### 参加者から

- さすが岸さん、登場の時の笑顔が素晴らしい。人形に「はちまき」をかぶせるところや、水を飲んだ後両手を振る動作がイキイキしていました。(OT)
- 笑顔を絶やさず、また、お人形が話しながら水をすくう時の口の動かない演技も見事でした。(HT)
- 定例会の時から2日位しか過ぎてないのに、ちゃんと修正し、素晴らしい演技をされ、さすが師範の認定会だと思いました(とんぼ先生の特訓…裏で)。(KK)

### 感想

#### 春風つばめ

芸の厳しさと奥の深さを学ばせていただいた研修会でした。参加者それぞれに修羅場をくぐりぬけて来られた方々であり、研修に対する厳しさをひしひしと感じました。私も失敗や挫折にくじけることなく、芸の道に精進したいと思います。

目をつぶって考えることも大きな芸の一つ、お人形が見ている人に問いかけることも芸、考える時のまばたき、相手に問いかける時のまばたき、それぞれに違いがあり、これも芸、手の振り方にも強い、弱いがあり、芸であり、いろんな演技法がある。これまで考えたことがなかったことでした。校正をし、推敲することもしてきませんでした。一気呵成に素晴らしい台本をつくろうとしてきた自分の愚かしさを痛感しました。

#### 春風たみ子

とんぼ先生は「台本を深める」を丁寧に教えてくださり、ステップ1、2、3から次のステップまで、よくわかりました。『ロゴスの腹話術』『くせになりそう』をまた読み直しました。テッテル先生の人形の動き、基本動作とても良くわかりました。豊田の定例会でも取り入れてみんな練習したいと思います。

### 「台本を深める」の研修について

- 2回にわたり具体的な事例も加えてお話ししてくださったので、自分の台本、演技、演出の見直しにとっても参考になりました。とんぼ先生の私たちに一生懸命伝えてくださる熱意に感謝です。(KN)
- 「台本を書く時は、型にはめ込む」と言われたことが心に残りました。せりふの横に強弱、緩急、表現を書き入れる、台本をふくらませるなど考えていると難しいですが、一つずつ取り入れて、台本を書いてみたいです。(MM)
- 初級：笑顔の入場、胸音頭音の発声、9パタ。中級：正しい打音、まばたき、「間」。上級：人形の動き→基本はマルコの123…をわかりやすくご指導いただきました。自分の姿勢を振り返る良い機会になっています。(HT)
- しばらく育児・介護・仕事に専念のため、ロゴスをお休みし、今年から再開しています。イチロー師匠が「汗かき」「恥かき」「台本かき」、中でも「台本は命である、大切である」とおっしゃっていたことを思い起こす時間にもなりました。とんぼ先生が受け継がれて伝えられた「台本を深める」のお言葉を理解し、台本を書きあげ、人形信ちゃんと、一日、6分の練習を重ねていくことが、今、私の取り組むべき課題であり、精進して腹話術を続けていきたいです。(NC)
- 今取り組んでいる詐欺の台本でボランティア活動に出かけ、一人でも詐欺にだまされないよう啓蒙して歩きたいと思っています。それには演技等もっともっと高めなければと…。(KK)



- どんなに腹話術、人形操作が上手でも「心」の伴わない腹話術では、見て下さる方を揺り動かすことは難しいです。どうしたら観客の目を輝かすことができるか？ロゴスつまり、神様の愛の言葉を、人形を通して語ることができるよう祈りのこもった台本づくりに取り組んでいきたいです。(UK)

## 発声・動作練習について

- それぞれが人形で発声、人形操作を実演できたことが良かったです。(KK)
- 春風テッテル先生からは、人形の基本操作として、マルコ・マタイ・ルカ・ヨハネのそれぞれ3つの動きの実技をご指導いただきました。具体的に学んだことを支部で活用したいです。(HT)



### ● テッテルさんの発声練習



この発声練習の一部は、**ロゴス腹話術研究会のホームページ**で見ることができます。

(トップページ → 「研修」 → 「研修会の様子」 → 「第8回ロゴス腹話術 研修会・技術認定会」へとお進みください。)

#### 発声練習

- |    |             |
|----|-------------|
| 1) | ○ う・お・あ・え・い |
|    | × ウ・オ・ア・エ・イ |
| 2) | ○ うーうーうん    |
|    | × ウーウーウン    |
| 3) | ○ おーおーおん    |
|    | × オーオーオン    |
| 4) | ○ あーあーあん    |
|    | × アーアーアン    |
| 5) | ○ えーえーえん    |
|    | × エーエーエン    |
| 6) | ○ いーいーいん    |
|    | × イーイーイン    |

## 交流会

- ある方が「落語の笑いや間などを参考にしている」と紹介されました。言葉の「意味違い」をネタとして笑いのある台本作りに取り組んでいる方もいました。台本作りになレーションを入れても良いかの質問に、ウータン先生から長い話は聞いている人が疲れてしまうから、短く区切って入れたら…という助言がありました。(TA)
- お人形の操作で未だに戸惑うことが多く、5歳以下の幼児では泣く子どもに出会います。交流会では、そんな悩みなども話題の中にあって楽しく過ごしました。(FH)

春風イチロー師匠は「だから私はひとつのことだけ一生けんめいになってやってるんです。」という言葉、『腹話術のすべて』（春風イチロー著）を通して、ロゴス腹話術研究会の会員に伝えていました。この言葉は、幸いにも現在の一般社団法人ロゴス腹話術研究会に引き継がれていることは、大きな喜びです。ある時、イチロー師匠主催の日本橋のある演芸館で開催されたロゴス腹話術研究会初心者講習会に助手として招かれ、イチロー師匠の一挙手一投足及び一言一句を初心者に漏らさず伝える役割を与えられた事がありました（実際には、イチロー師匠の脇に座って初心者に睨みを利かせる役割だけだったのですが）。その時の師匠の眼光はするどく、初心者が隣同士でおしゃべりをしようものなら、厳しい愛の言葉が矢のように飛んで行った事があり、昨日のような出来事として覚えています。それは正しく師匠の「一生けんめい」でした。それ以来、この「一生けんめい」はどこから来ているのかと思ひ巡らしていたところ、伝道の書（コヘレトの言葉）9章9節に基づいた短いメッセージが、ある知人のクリスチャンから送られて来て、次の10節にも目を通したところ、「何をするにも一生けんめいになってやりなさい（Work hard at whatever you do……）」という語句が飛び込んで来て、「生ける世界に於いては仕事をし、計画を立てたりする事も出来るし、知識も知恵も存在しているからです」という理由を知った時、イチロー師匠の一生けんめいになって初心者講習会に臨まれた姿に、改めて深い感銘を受けました。



10年に1回の割合で実演すると心に決めた台本がありましたが、2019年には請われて立て続けに実演した台本がありましたので紹介させていただきます。その台本の背景は、1950年（昭和25年）6月25日朝鮮半島に突然戦争が勃発しました。それは北朝鮮軍による韓国側への奇襲攻撃で、第2次世界大戦が終了してから僅か5年後の大きな出来事でした。そのような中で、ある一人の女の子のクリスチャンが、北朝鮮軍に捕まり、他の韓国人のクリスチャンと共に踏み絵を踏まされる事になってしまいました。その時その女の子はどのように信仰を貫いたかという春風パウロさんから許可を受けての台本で、東日本大震災地の宮城県気仙沼市やInternational VIP Club Sendai等で、たて続けに実演が出来た事でした。その台本のタイトルは「少女の信仰」で、このような「少女の信仰」を維持できるようにと日々自己研鑽に励んでいます。

## 近況

### 春風とんぼ

今年の四月第二の日曜日は、キリスト教ではクリスマスと並んで大切な「復活節」「イースター」の祝日です。そのさなか、世界をゆるがす新型コロナウイルスが爆発的に伝染を強めています。みなさん、いかがお過ごしですか。春日井ロゴスでは、三月から例会、勉強会も各地のご奉仕も全てお休みにしました。私は入門以来満51年になりますが、心臓の大手術を受けて療養を余儀なくされた時でも35日ぐらいのストップでしたから、考えてみるととんでもない大事件です。どうぞみなさん、この時を大事にしてください。

## 新聞記事

静岡新聞 2019年8月31日 春風ひすい

### 名産 腹話術で紹介

静岡市葵区の市文化財資料館は29日、同館で夏休み自由研究教室「家康の名づけた『静岡名物うまいもの』のお話を聞こう」を開いた。地元の児童14人が腹話術を楽しみながら、県内の宿場や名産について学んだ。

腹話術を披露したのは、北部図書館友会の会長の小泉啓子（春風ひすい）さん。十返舎一九の東海道中膝栗毛に登場する弥次さんをモチーフにした旅姿の人形「ケンちゃん」とのお掛け合いで、三島のウナギや江戸時代の大井川の渡しについてユーモアたっぷりに紹介した。

家康から「天下第一品」と評され、後に伊豆に伝わったとされる有東木のワサビや家康の保護を受けた足久保の茶など、家康と食文化の関わりについても語った。



新型コロナウイルス拡大で「緊急事態宣言」が全国に出され（4月16日時点）不要不急の外出を自粛するように要請されました。私は、目に見えない敵との戦いは、実態が不明なほど怖さを感じ、不安な日々です。

ロゴス腹話術会員の皆さんは、自由闊達な活動ができず、家の中に引きこもった状況ではないかと推察します。

しかし、この状況をチャンスと捕らえ、次のような三つのことを実践する絶好のチャンスに変えましょう。

## 1 テキスト本の熟読

『腹話術のすべて』（春風イチロー師匠著）・『ロゴスの腹話術』『くせになりそう』（春風とんぼ先生著）等を熟読すると、新しい発見・知識の確認ができると思います。

## 2 台本づくり

日頃「台本づくりは、忙しくて…」と言っている人は、用途別に（例、学校・幼稚園・老人会・一般社会人用）台本づくりはどうでしょう。

資料本を読む、パンフレットの取り寄せ、現地調査、写真撮り、図書館へ、地元の人から取材等時間をかけて調べ、構想を練り、熟成させた後、台本を書き、推敲なされると、立派な台本ができると思います。

（残念ながらこの一部は外出自粛ではできませんが…）

## 3 練習

2月の研修会時、とんぼ先生の講話内容「鼎」を思い起こし、次の事柄を念頭に練習すれば、より技術の向上が期待できます。

- 第一ステップ：笑顔・発声・9パタ
  - 第二ステップ：笑い・打音・まばたき
  - 第三ステップ：人形操作の基本・目線・間
- この3つのことを意識して鏡の前で練習。



「鼎」とは台本作り、演出、演技の三本柱です。

さあ！このチャンスを生かしましょう。

## 新聞記事

富士ニュース 2019年11月19日 春風テレサ

### ☆地域で楽しむ豊かな活動☆ ロゴス腹話術研究会

丘町づくりセンターのロゴス腹話術研究会富士ボスコは、創始者の故・春風イチローさんの教えを受けた春風テレサ（本名・松山静子）さんの指導で上達を目指している。

富士市や近隣市町の高齢者施設や児童館、地区文化祭、敬老会などで披露し、幅広い世代の人に癒しと笑い、感動を届けている。

パートナーの人形は手作り。目やまぶた、口、眉毛を動かせるようになっていいる。完成した後も調整や補修などを繰り返し、実際の子どもや孫のように愛情を注いでいるうちに、少しずつ人形を操る術者に似てくるという。

活動は発声練習からスタートし、基本を学ぶための台本を使った練習に移行する。術者の話は大きく口を開けて胸式呼吸。人形は腹式呼吸で術者の口を動かさずに声を出す。テレサさんが術者や人形の表情、掛け合い、間の取り方、感情の込め方などをアドバイス。操作や演技の基礎を身に付けてから、オリジナルの演技や台本作りにチャレンジする。

グループは公民館講座の修了生で平成14年に結成。現在は8人のメンバーで月に3回木曜の午後1時半～5時、月に1回日曜の午前9時～午後5時に活動している。

活動の魅力についてメンバーは「パートナーと会話をしていると自分自身も癒される」「子どもが興味深く接してくれる。お年寄りも子どもや孫のように話しかけてくれるのでうれしい」などと話した。

テレサさんは「腹話術には人形を通じて人の心を開かせる不思議な力がある。練習すれば必ずできるようになるので、楽しくこつこつ継続してほしい」と期待する。

同グループでは見学や体験を歓迎している。問い合わせは丘まちセンター（☎71-3961）。



一番右がテレサさん



大きな口を開くこと、ゆっくりやること、  
絶えずニコニコほほえみをもってやることがうまくなるコツです。

(「イチローのズバリひとこと」より)

# ほほえみ

ロバート・バー 

(題字：春風イチロー)

数字 = 「ま」	打音	数字 = 「ま」	打音
○ ほほえみ <sup>2</sup>		○ しかしもらった人を	
1 × ホホエ <sup>⊖</sup> <sub>2</sub>	B	9 × ウン <sup>0</sup> <sub>0</sub>	A
1 × それは一文も もとではかからない		9 ○ 限りなく豊かにする	
1 × ソーネエ <sup>2</sup>	B	9 × ホント…ネエー	A+A
○ しかし驚くべきものを <sup>0</sup>		○ ほほえみ <sup>2</sup>	
9 × ウン <sup>0</sup>	A	1 × ホホエ <sup>⊖</sup> <sub>0</sub>	B
9 ○ 人に与える <sup>2</sup>		1 ○ それは人生のあらゆる問題に対して	
9 × ホント…ネエー	A+A	1 × ウン <sup>0</sup> <sub>0</sub>	A
○ ほほえみ <sup>2</sup>		○ 神のあたえたもうた妙薬である	
1 × ホホエ <sup>⊖</sup> <sub>2</sub>	B	1 × カッコイイ・ネー	C
1 ○ それは人に与えても <sup>0</sup>		○ しかし このほほえみは金で買うことも	
1 × ウン <sup>0</sup>	A	1 × ウン <sup>0</sup> <sub>0</sub>	B
○ 一向に減りはしない		○ 人から借りることも	
1 × ソー・ネエ <sup>2</sup>	A+A	1 × ウン <sup>0</sup> <sub>0</sub>	A
		○ 盗み取ることも出来ない	
		1 × ステキ・ネエー	A+A

1. 「ま」は、0拍、2拍、4拍。演出、演技は台本の脇に書き込む。
  2. ゆったり正面に向かって、いっぱい微笑みをもって演じてください。
- ⊖ 破裂音 (春風とんぼ)

## 〈編集後記〉

「緊急事態宣言」が少しずつ解除されようとしています。この時間を利用して、上の「ほほえみ」の台本にチャレンジしてはいかがでしょう？人は、誰かに近寄ったり、触れたり、集まっておしゃべりしたりすることで気持ちが明るくなり元気がわいてくるものです。でも、しばらくそれが出来ませんでした。ようやく、恐る恐る元の生活に戻ろうとしています。そんな縮こまった気持ちの中にあるみんなに、どうぞお人形さんと笑顔の贈り物をしてください。

## 【訂正とお詫び】

※第12号に、下記の通り誤りがございましたので、訂正させていただき、深くお詫び申し上げます。  
P8 誤) 龍田ヒサエ  
正) 瀧田ヒサエ



(絵：春風赤とんぼさん)

〇年会費5000円、寄附をどうぞよろしくお願いたします。

【会費・寄付金振込先】(名義はともに、「一般社団法人ロゴス腹話術研究会」です)  
ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127  
ゆうちょ銀行：店名：〇二八(読み ゼロニハチ) 店番：028 普通預金 8 8 5 9 0 5 2

発行：一般社団法人 ロゴス腹話術研究会 事務局  
〒211-0005 神奈川県川崎市中原区新丸子町734-1  
アベニオ新丸子ビル402号  
TEL/FAX：044-733-6650  
メールアドレス：harukaze@logos.or.jp  
ホームページ：https://logos.or.jp